

一般の部

歴史の授業で感じたこと。
昔の苦しい生活。多くの人の死。家も家財も焼けてしまったという事実。
私は、平和を望む。

戦争は、大切な人を失うこと。
今日隣にいた人が突然いなくなる。
私たちは、国の領土、人のいのち、社会インフラなどを、失わないために、紛争の火種をなくす話し合いを続けることが必要なのだ。

毎日、「行ってきます。」「ただいま」があたりまえの挨拶になっている。
しかし、戦争が始まれば、「生」と「死」がいつも背中合わせで食糧もない。
決して戦争を「教科書のなかの話」にしてはいけないのだ。

青空に関光が走り時が止まった。入道雲だけが80年前の夏の証人だった。
黒いリボンが道に落ちていて、家族の名前を叫ぶ声だけが空に消えていった。
どこの国にも、たくさんの土地がある。そこに「希望の種」を蒔こう。
きっと美しい花が咲くはずだ。

争いのない空の下で、笑顔が広がる世界を願い、80億人の心がつながる。
毎日の何気ない会話も、当たり前と思う日常も永遠には続かないのだ。
一日、一日を大切に生きていきたい。

「世界が平和でありますように」と、言葉するのは簡単だけど、
実現させることは難しい。
世界が「平和」になるには、どうしたらいいのだろうか。

当たり前の幸せなど無い
この幸せの裏側には今の生活をつないでいてくれた人がいることを、
忘れては、いけない

教室の窓から外を見て思う。
何気ない毎日が本当に幸せなのだと。
この当たり前前日常がずっと続くように、と。

増える嬉しい知らせ。
減る悲しい知らせ。
明日の平和のために、私たちが進む世界だ。

今あることが普通だとは思わない。
テレビの向うには、争いや戦いが常にある。
早く戦争が終わりますようにと心から祈る。

いま自分達が出来ることは、
「語り伝える」ことが
自分たちが唯一出来ること。

私たちは幸せだと思う。
空も大地も海も安全だから。
でも、これをあたりまえと思ってはいけないのだ。

「戦争」は人々が犠牲になる残酷なもの。
「平和」は人々が望む幸せなもの。
争わないで！助け合って！世界中が、笑顔であふれますように。

武器はいらない。
国の壁もいらない。
手と手をみんなでつなごう。

昔、戦争で、
多くの光と多くの人の生命を失った。
誰も止めることのできなかったこのストーリーを、忘れてはいけない。

たとえ国が違って、
名前を呼びあえば友だちになれる。
そして笑顔になれるんだ。

夢をつなぐ。
今の幸せが当たり前ではないこと。
思いやりと感謝の気持ちを持つ毎日に。

平和とは、永くにとってかけがえのないもの。
だから、平和であればしあわせになれる。
戦争のない世界にしたい。

戦争は
誰も得しない
争いだ。

毎朝見る事件のニュース。
これ以上事件がおきないようにと、
平和になれと願うばかり。

穏やかな風が吹きぬける。
世界中の人の心の中に平和の種をまき、
未来へと花を咲かせよう。

自転車をこぎながら、おしゃべりをする。
学校の帰り道は私にとっての息抜きの時間。車が止まってくれ、笑顔で頭
を下げる。
こんな「平和」な日常がいつまでも続いて欲しい。

どこまでも続く青い空、
楽しそうに遊ぶ子供達、
この状況が、世界中に広がるのはいつになるのだろうか。

「戦争」小さかった私にこう言った。
ひいおばあちゃんは、
「もう絶対にやってはいけない。」と。

この世界にはまだ「戦争」という言葉がある。
人の命をどのように思っているのか。
世界から戦争がなくなり、平和な世界になることを願い続ける。

戦争とは、大切な物を失い、日常を奪うもの。
平和とは、命や笑顔を得て、日常を守るもの。
私達は、未来の「平和」を考える上で過去の「戦争」を忘れてはならない。

日本人から笑顔が消えてしまった80年前。
その思いを受け継いできた今の日本。
世界から争いがなくなるのはいつだろうか。

思いやりの概念とは何か。
危機を感じたときこそ、人間の本性は現れる。
そんなときこそ、人の事も考えられるようになりたい。

アラームで起きる朝、
部屋を出たらみんないる、
今日も平和だ。

子どもの笑い声、
日常が壊された、
原爆のすさまじい一撃。

本当に大切なことって何だろうか。
「戦争」をすることじゃない。
私たちが大切にすることは、「平和」と「人を愛すること」なのだ。

月がやさしく夜を守り、
家の灯りは家族のぬくもりを映す。
どうかこの静けさが、永遠に続きますようにと願う。

戦争の映画を見るたび思う。
友達と笑い合っているこの「しあわせ」。
この日々がずっと続きますように。

戦争が残した恐怖、日を追うごとに少なくなる戦争体験者。
当たり前前に感じている平和だが、世界に目を向ければ、恐怖に怯える人が
いる
「平和に生きる」ことが、平等には与えられていないのだ。いまでも。

広島80年前の荒野、
時間が経って世の中は変わり続けてきた。
姿や形は変わっても、人々の「平和」を望む思いは風化はしない。

「平和」とは何かを、
問い続ける声が、
どこかにあるはずだ。

戦火の跡に雨がふり続けた。
焼け野原にも緑が芽生える。
それは小さな平和の始まりとなった。

「死にたい」と言って、死んだ人はいない。
それは、戦争のときだってそうだ。
誰もが、「生きたい」と願って、生きていける世界にしないといけないと思う。

空を見上げると飛行機雲が横切っていく。
今も昔も、形は変わっていないけれど、
「綺麗だな。」と感じる時間が流れているという事実。

戦争で罪の無い人が殺され、悲しい涙が流れ続ける。
今の私たちは、戦争の悲惨さを理解することが大切なのだ。
戦争や争いの無い世界を実現するために、私たち一人ひとりが平和を愛し、すべての人の笑顔を守り続ける。

手をつなげば、
知らない国の声さえ
近くに聞こえてくる。

戦争はあまりに多くの命を奪っていく
私達が当たり前に今日を生きているのは戦争のない地に生まれた偶然にすぎない。
生きられることが必然となるために世界に平和を訴え続ける。

戦争の影を消し去り、
争いを忘れ、手を取り合い、
みんなが笑顔で生きられますように。

青い空の下、子供の笑い声が私の耳に届く。手をつなぎ、空を見上げると
平和なんだと思える朝がある。
だが、今も終わることのない戦争は、どうしたら止めることができるのだろうか。
持つべきものは、武器ではない。愛なのだ。

凹んだ大地、荒れくるう大空。
激しい戦いが遠い昔のことになったいま、静かにゆれる平和の旗。
壁に飾られた広島の子鶴に向かって、人はにこやかにピースをする。

テレビで流れる遠くはなれた国の戦場。
多くの人が目を止めない現代社会で、
自分ごとだと思える人になりたい。

平和になった今だからこそ
当時のことを忘れてはいけないと
千羽鶴はそっと教えてくれる。

争いなく、
心と心で、
幸せを感じ続けられる世界へ。

各地で聞こえる子どもの声、
戦いのない豊かな日々。
願いはひとつ、「平和が続きますように」と。

語り継いでいかななくてはならない「あの日の事」。
二度と起こしてはいけない「悲劇」。
次の世代に伝えよう！私たちの平和な日常を。

私たちが送っている平和な生活は当たり前じゃない。
1日8万6400秒。
1秒1秒に感謝して生きていきたい。

罪のない人間が戦争で命を落とす。
戦争のない世の中にするという思いを語り継ぐ。
平和の世界を取り戻すために。

戦争はよくない。
みんな平和に。
輪になろう。

いつもお盆に行くお墓まいり。
墓石に刻まれている名前は、戦争で亡くなってしまった叔父さん。
会いたかったな。

人から戦争の痛みをなくそう。
全ての人が毎日笑顔で過ごせるように、当り前の日常を守るために。
今日を笑って過ごすことができるために。

八月の静かな朝に、
鳥の鳴く声が響いてくる。
銃声のない世界があれば良い。

当たり前の日常は
一瞬で壊れてしまうから
今日も後悔のない一日を過ごしたい。

黒い空につつまれた一瞬があった。
国と国との戦いのために犠牲になる命。
もう二度と起こしてはならない悲惨な出来事がある。

今なお戦争がつづく世界、
人と人々が完全に理解するのはできないことだけど、
優しさの気持ちを持つだけで一步平和な世界へとつながってゆく。

今日は友達と一緒にご飯
道の向こうの待ち合わせ場所
手を振ったら振り返してくれた。

私が知ってるのは教科書だけ。
経験したことないから証言者にはなれない。
だからなりたくない。

暑い暑い夏の日、涼しい風が吹いた。
すずしいね。
私はちょっとさむいかも。

平和は
戦争や不平和を見続けることでしか前には進めない。
なぜなら問題の解決はそこから始まる。

学生たちが
自由に学べる街づくり
これが平和

平和ってどこにあるの？
遠い空の戦火に思いを馳せる
今ここ、私たち一人ひとりの心が平和ならば…

私は今、生きている
護国のために命を捧げられた英霊の皆様
この命を平和のために生かそう

幼子と横断歩道を渡る母親
いつか手を携えてもらったことを思い出す
カルガモの親子を見守る温かい社会が続きますように…

見える聞こえる…数えきれない感謝
失って気づく健康の有難さ
失って気づく親、友の有難さ

言葉の魔力を知った
私も貴方も幸せになる力 私も貴方も不幸になる力
貴方にも言葉の大切さを伝えたい

私と貴方の中に在る『命』
生まれてきて良かった
『命』に喜ばれる生き方をしたい

自分を守ろうとするより
周りの人たちが幸せになる行動をすると
命の力で私たちが守られる

「戦争」は息をひそめ、物かげから私たちを窺っています。
あなたには、根拠のないデマを見つける方法がありますか。家族や友人
に、相談をする人間関係はできているでしょうか。
危機を察知する方法を理解し、ともに行動することができれば、困難を打
開することができます。真実を見極める目と勇気を持って、「平和」ない
まを生きてゆきましょう。

私は知っている、敗戦の日を。私は知っている、戦中戦後の大変だった
日々を。
だから誰よりも強く願う。平和を！！
この世に生を受けた命のすべてが健やかに全うできるように。平和を！！

戦地からの恋人を待ち続けたという友よ。
あの世とやらで彼に逢えましたか。
年老いたあなたを見つけてくれますよう祈っています。

セピア色の写真に残る徴用馬。
外地で叔父と死んだという。
今「木曾馬の里」の馬達は元気に走っています。

懐に吾子を抱き
背中に九条くくりつけ
静かに歩めば波立たず、この小弛みし平和を守りたし

スウェーデン平和国家と言われしは
長年争い(戦争)をしなかったからと学んだ。
我等も80年、平和を守ってきたから。これから先もず〜っとね。

戦争被災地巡りみた
広島長崎沖縄、知覧松代本営などなど。日本人のひとりとして、一度は
行ってみたきもの、兄は特攻隊員として戦争参加
心はズタズタとなったから、悲しい事実よ

お母様へ
恋人に美しい立派な字手紙残して特攻基地知覧より片道燃料で出撃され
た。
戦後生まれの私 涙が止まらず、この様な事が二度と起らない世界に、

今朝文おじさん
1枚写真が見つかったけどどの方か?知っている家族がもういない。
昭和20年8月14日戦死と受けた 父と兄弟が悲しんだでしょう

今もなお、我が国の苦しみ、後に苦しむ多くの国へ
80年過ぎた、
終りにしましょう苦しみは、

平和への祈りは
人間の過ちから生まれたもの
深い悲しみを知ったからこそ 当たり前の日常の尊さも知った

平和とは
特別なことではなく平たい和
穏やかに広がった日常なのだ

父が笑い 母が笑い 夫が笑い 息子が笑う
わたしの周りのみんなが笑っている毎日が
それが幸せ それが平和

人々が
笑って過ごせるように
いじめを無くす社会へ

積極的に
ボランティア活動に参加して
明るい国へ

困っている所に
募金をして
みんなで助けよう

今も昔も変わらない
争いの無い世界とは
何十年何百年後の未来に託す

平和は
ごめんなさいと
ありがとうでできている。

知覧の特攻平和会館で
「笑って征きます」と大きな文字で書かれたある特攻隊員の遺書の
本当のおもいを見つめてください

平和に過ごせる日常に
あぐらをかいていないか、努力を怠っていないか
自問自答する

ガザの子供の泣き叫ぶ声
近くの小学校から聞こえる元気な子どもたちの声
こちらの平凡な日常はあちらの天国

平和は大切、平和は尊い。
でも神棚に飾って拝んだり、
カギをかけて金庫で保管できない。

ヒトの歴史は戦争の繰り返した。奪い合うのはヒトの本性。
けれど、譲り合い助け合うこともしてきた。
そこに一縷の希望を託し、今を生きていこう。未来はそう暗くないはず。

いったいいつになったらこの争いは止むだろう。
あっちの正義 こっちの正義 また違う正義。どの糸を引いてももつれた
糸玉は小さくなったり大きくなったりを繰り返すばかり。
それでも私たちは歩き続けよう。小さな石ころが巡りめぐって大きな山を
動かすこともあるのだから。

三行詩について考える
目を瞑ると、普段の生活が思い浮かぶ
ああそうか、わたしの平和は今この瞬間なんだ

もめごと、争い、戦争
刀、鉄砲、大砲
ミサイル、原爆、それからどうするの！

どんな争いにも、理由があり、言い分がある。
どんな戦争にも歴史があり、原因がある。
しかし、人を殺めることが、解決になるだろうか！

多くのからみあった歴史をひもとき、
多くの混ざりあった民族を和合し、
そして、多くの人々の願いを込めた思いが、平和をつくる。

思いきり窓を開け放つ
広がる青い色が好き
夏空ソーダ青いシャツそしてあなたも

柔らかな月が問いかける
遥かな歴史から何を思う？
月影はただ静かに動いていた

あとどれだけ血を流せば人類は学習するのだろうか、
あとどれだけ悲劇を繰り返せば
人類は目を覚ますのだろうか。

悲惨なニュースを見て、
いくら私が悩んでも、
いくら私が胸を痛めてもきっと世界は変わらない。だからこそ

互いの違いを認め合える世界を、
自分の気持ちを伝えあえる世界を。
まずは自分のできるところから。

人はいつか亡くなる
この一瞬一瞬が
私達の生きた証

人はいつか亡くなる
だからこそ楽しく笑って
1人1人生きるんだ

日本では、身体健康で、心情穏やかで
そんな人こそ平和を望む
私はそんな平和を望める人になりたい

私の心に平和の鐘を響かせたい あなたの心に平和の鐘を響かせたい
みんなの心に平和の鐘を響かせたい
この地球に平和の鐘を響かせて戦争をなくしたい

朝刊配達を終えた安堵感で、
仏壇に手を合わせる日々、
こんな、穏やかな時間が世界中に届いて欲しい

早朝の蛙の合唱と田んぼに流れる水の音、
そして、すがすがしい空気を吸い、深呼吸をする。
こんな穏やかな時間を、世界中に届けたい。

民生委員になり、3年目、
お年寄りから授かる知恵袋、いないひとなんて一人もいない。
平和な暮らしがずっとずっと続いて欲しい。

みんな、悲しまない苦しめない
制限のないどこまでも広い気を持ち
穏やかな心なら私の平和

あの笑顔、
その笑顔
未来に続け君の笑顔

“明日テストだね～” “明日映画見に行こーよ！”
明日、明日って言い合える相手がいる
あたりまえであたりまえじゃないこと

平和って
心の安定が
あってこそだよ

何事もプラスとマイナスがあって 怒りの感情がでた時はちょっと深呼吸
して
相手も悪いけど自分ももっと【こうすればよかったかも】って事がある
と思う
その気持ちになれたなら平和的な解決ができるのかもしれない

相手も自分にも?があって◎がある
◎を探すことに力を注ぐ事ができれば
平和な人間関係が築けるかもしれない

ごめんね ママはスーパーヒーローじゃないから 君のお願いでも戦争は
とめられない
でも、きみが笑顔になれるよう、今日もおかえりって言うよ
そんな毎日の先に平和を祈るよ

なぜ戦うの?
人を傷つけなくても
暮らしていけるよ

語り継ぐ大切さ
忘れさせない
戦争の経験を

戦わず傷つけず
今の平和を
守りたい

帰るなり
優勝したら三千円もらえるんだってと眩しい眼差し
汗いっぱい鉛筆にぎり想いを込める

あの日あの時あの場所で
いつまでも思い返す
その過去があるから今を生きている

一日終わり
家族で食べる晩御飯
ホッと肩から力が抜ける

簡単な料理でも
家族が食べてくれて、うれしいです
それが私の平和

いつか誰かが言っていた。
「青は幸せの色だ」と。
このどこまでもいつまでも続く「青」が幸せの証となりますように。

1つ、2つ、笑い声
世界中にこの音が響き渡る日。
それがきっと平和の訪れ

目が合う
弧を描く
それが当たり前であること

終戦と今は
同じ時の流れに
在るんだよ

過去も今も
変わらない
稲穂の波

城下町に
600年目の
鳩が舞う